|  |  |
| --- | --- |
| **16**（月） | のやぐら |
|  | **使1章1～8節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。」(8) |
|  | のRemnantのほとんどはでした。は\*にえたのですが、しました。のをかったからです。をするりをけていれば、のがかれるようになります。たちのではなく、からのがえられるのです。すると、Remnantにるえがあります。１つ、がRemnantをりとしててられます。のやぐらがのにあれば、がるしかないプラットフォームになります。そして、のをれば、\*Watchtowerになります。すると、しるべをたにアンテナになるのです。２つ、つのがかされるようになります。237か５がるのと、やされるりの、どもたちをサミットにするどもたちのがかされます。３つ、がるでしょう。すると、にRemnantがキリストとり、についてぶようになります。そして、のがせないをやすをるようになります。パウロがたローマもることができます。やぐらをててえをけるRemnantのをしましょう。\*-べたりできることがないことをします。\*Watchtower(り) -あることをるためのをします。 |
|  | 、やぐらをるRemnantとしてしますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2023.12.20.東南アジア伝道集会3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **17**（火） | はなりにえられる |
|  | **箴15章8節**　のいけにえはにみわれ、のぐなのりはにけれられる。 |
|  | なりとは、のをじるのりです。はをったのりをいてくださいます。なりをするとき、つのことをにしましょう。１つ、えられないりがあります。うそのりと、まちがったりです。うそのりは、えられません。また、３でをれてとなったまちがったりもまた、えられません。２つ、えのがあります。るとき、ににづきましょう。にづくためのは、キリストだけです。それゆえ、キリストのをってりましょう。そして、がわれることがか、のみこころをつけて、りましょう。３つ、えのがあります。をめたりは、ずえられます。えられないりと、えのをってれば、くべきえときがこりめます。Remnantは、このりをけて、りのにきめましょう。Remnantののでりがにりち、りがRemnantのになるようにしましょう。をめてるりからめましょう。すると、いつでもりがにりち、なことがあるとき、してるようになります。 |
|  | 、のをじるなりをすることができますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2023.10.24.237火曜弟子訓練1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **18**（水） | のとじるりの |
|  | **詩100篇1～5節**　しつつのにしつつそのにれ。にしをほめたたえよ。(4) |
|  | はRemnantのすべてのりをいて、えてくださいます。のと、えをわうためには、いつ、をればよいのかをりましょう。きくつですればよいです。１つに、のときです。のときのりでなのは、そのときにうのみことばをけることです。ですから、がとてもです。Remnantは、がえてくださったのみことばとともに、そのときごとにえられるみことばをってりましょう。２つ、なことがあるです。ながあるということは、なえがあるということです。きながこったということは、きなえがあるということです。なときなので、りによってえをることができます。３つ、Remnantのです。はになります。このにをれるかがです。どんなにくないでも、をれればのになります。たちのはくえるかもしれませんが、たちのにキリストのがっているので、のです。Remnantのりのは24、にできるりと、25、のえをけてすことです。Remnantをかして、すべてをかすりをしましょう。 |
|  | 、のとじるりができますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2023.10.24.237火曜弟子訓練2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **19**（木） | みことばのをってりなさい |
|  | **ヤコ5章13～18節**　ですから、あなたがたはやされるために、いにをいし、いのためにりなさい。しいのりは、くときながあります。(16) |
|  | Remnantは、えられるあるりをしましょう。あるりは、のをかることです。ここでなはRemnantのです。のではなく、のをて、つのことをればよいのです。１つ、えられるりのをりましょう。のみこころとなだければ、ずきはこります。のでりにえられたは、このをってりました。２つ、えのをりましょう。のであるモーセとエリヤ、エリシャ、ダニエル、ペテロは、りのえのをかりました。らのりをしてがして、がかされるきがこりました。ので、のきがこったのです。３つ、えられるのがあります。キリストがでサタンとわざわい、のをわらせたことと、のとののこと、ただのたしのをりましょう。このをったがくごとにえられ、がかされるきがこりました。りにえられるは、でなく、とのをしました。Remnantは、ととのがどうなのかしてりましょう。 |
|  | 、のみことばのをってりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2023.10.24.237火曜弟子訓練3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **20**（金） | のやぐら |
|  | **使13章1～4節**　らがをし、していると、が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロをして、わたしがしたきにかせなさい」とわれた。(2) |
|  | がくださったやぐらをてば、がえられるのをます。このえをとパウロがけました。のでがかされるやぐらができたのです。１つ、のたちは、キプロスのでのをめるにえをにけました。してのきをけるためにりをしたのです。このとき、がかれ、をして、がをじることがこりました。２つ、パウロチームがアジアにこうしたら、がめられました。そして、マケドニアのをかれました。そこでリディアにい、ピリピをめました。にりつかれたをし、そのできごとのゆえににったのですが、そこでがこりました。か、うまくいかないときは、もっときなことがえられています。３つ、パウロはとにって、のについてにしました。このとき、マルコのののをそのまましました。パウロはローマでもこのをししなければならないといました。パウロには、だれもできないのがあったのです。Remnantはがかれたのをしましょう。そして、ののでのミッションをつけましょう。 |
|  | 、のでがかされるのをるやぐらができますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.4.21.聖日2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **21**（土） | の |
|  | **イザ6章13節**　そこには、なおのがるが、それさえもきわれる。しかし、りされたテレビンやののように、それらのにりがる。このりこそ、なる。 |
|  | Remnantはやできごとのでしいにあうときがあります。このようなとき、Remnantはがえてくださるのがかをりましょう。１つ、にえがるまでけるがあります。それが\*のをわうりです。イザヤ61から6にされたように、にはえないのですが、とい、はです。これがのになります。このがにできるときまでりましょう。そうすれば、だまされることも、れることもありません。２つ、がにできることをになったといます。のがになったイザヤをはばれました。そして、イザヤはがばれたことばに「をわしてください」とえました。がくださった\*、\*、\*をつけたのです。３つ、のである、もっときなえはにあります。「をわしてください」とえたイザヤに、は\*りをしなさいとわれました。すると、そのをして\*がてて、をしげるようになるとわれました。はいのちをします。Remnantはがのことになるまでりましょう。そして、りをめましょう。\*：からえられるのこと\*：なにかのきやをするようにばれてえられたのことです、そのことから、ここではがのきをするためにばれたことをします\*：やにされたのこと\*り：をったにったをします。ここではレムナントをします\*：にしくえるの |
|  | 、をってりをするになりますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.04.27.レムナント伝道学 |